

上下水道局 令和6年度予算編成の基本的な考え方 (令和5年8月9日付け、静岡市公営企業管理者通知)

令和6年度当初予算編成は、上下水道事業の本来の使命である「良質な水道水の安定かつ安価な供給」及び「安定的な汚水処理による良好な水環境の保全と浸水被害の軽減」を果たす取組を第5次中期経営計画(2023~2026)に基づき計画的に推進するとともに、新しい市政の姿として本市が目指す『新しい時代の真に安心感のある温かい社会』の実現に寄与すべく、全庁的な方針に従い、時流を捉えた取組を推進していくこととする。

各課においては、今後も厳しい局面が続く経営状況において、地方公営企業として、水道料金、下水道使用料をサービスの対価として運営する企業性格と、公共の福祉を増進する観点から、必要最小限のコストで最大限の効果及び成果を実現できるよう、前例にとられないことなく各種業務の見直しを図り、予算を編成するものとする。

9つの重点項目

- 1 【継続】 「第5次中期経営計画」に掲げる成果指標の達成
- 2 【拡充】 経営努力による経費の削減策・収益の増加策の推進
- 3 【拡充】 脱炭素社会の実現に資するグリーントランスフォーメーション（GX）の推進
- 4 【継続】 DXの推進による市民サービスの向上と業務の効率化
- 5 【継続】 アセットマネジメントの取組の推進による事業の最適化
- 6 【継続】 危機管理体制の充実、施設の老朽化対策や地震対策、浸水対策の早期執行による市民生活の安全・安心の向上
- 7 【継続】 上・下水道事業の人材育成ビジョンに基づく職員の育成及び研修機会の提供等による受注者の人材不足への支援
- 8 【継続】 各種事業とSDGsとの関連付けによる中長期の視点の活用
- 9 【新規】 上下水道事業による官民連携を促す取組の導入